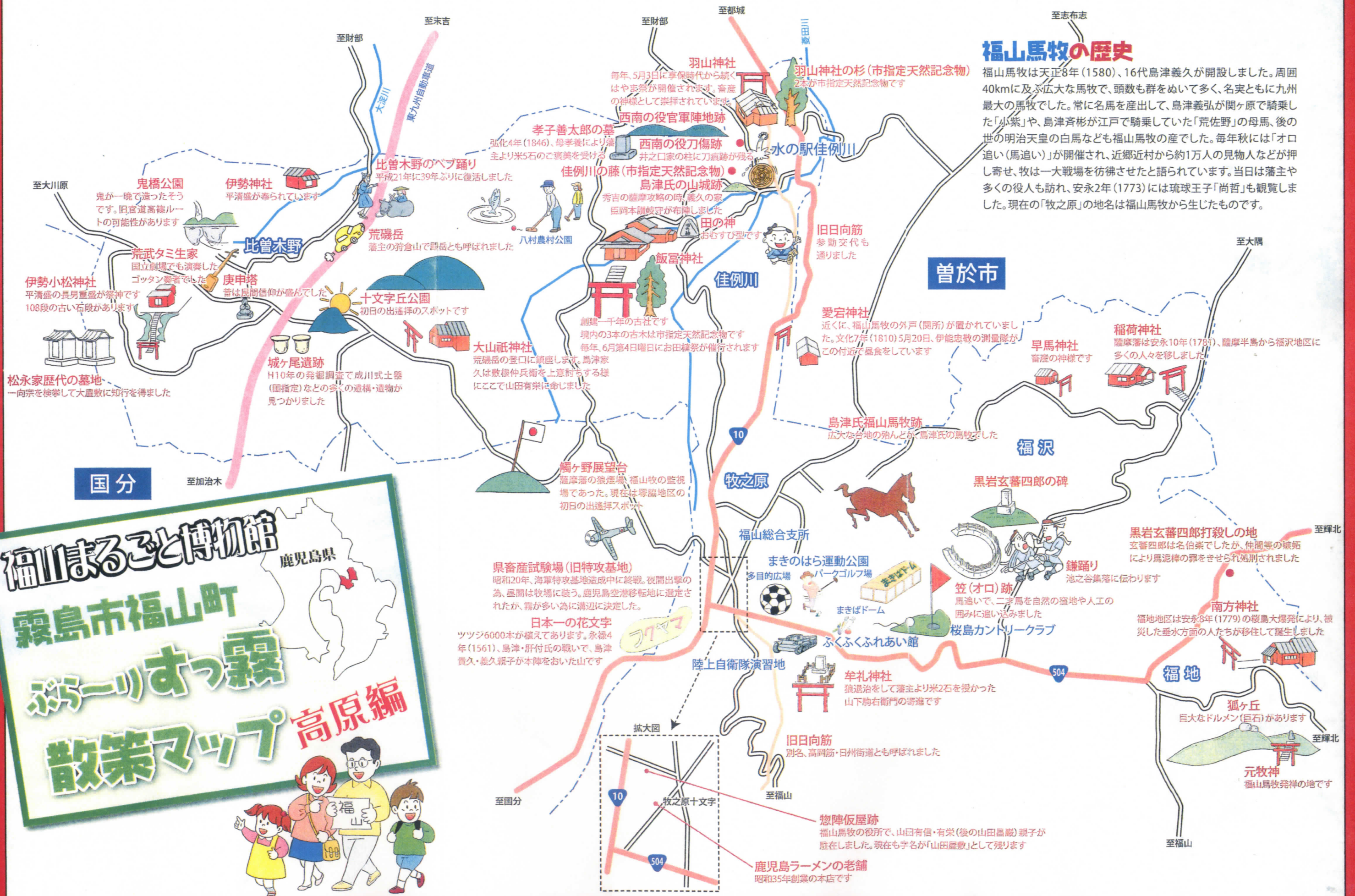


福山馬牧の歴史

福山馬牧は天正8年(1580)、16代島津義久が開設しました。周囲40kmに及ぶ広大な馬牧で、頭数も群をぬいて多く、名実ともに九州最大の馬牧でした。常に名馬を産出して、島津義弘が関ヶ原で騎乗した「小紫」や、島津齊彬が江戸で騎乗していた「荒佐野」の母馬、後の世の明治天皇の白馬なども福山馬牧の産でした。毎年秋には「オロ追(馬追い)」が開催され、近郷近村から約1万人の見物人などが押し寄せ、牧は一大戦場を彷彿させたと言われています。当日は藩主や多くの役人も訪れ、安永2年(1773)には琉球王子「尚哲」も観覧しました。現在の「牧之原」の地名は福山馬牧から生じたものです。



福山まるごと博物館
霧島市福山町
ふたりのあつ霧
散策マップ 高原編